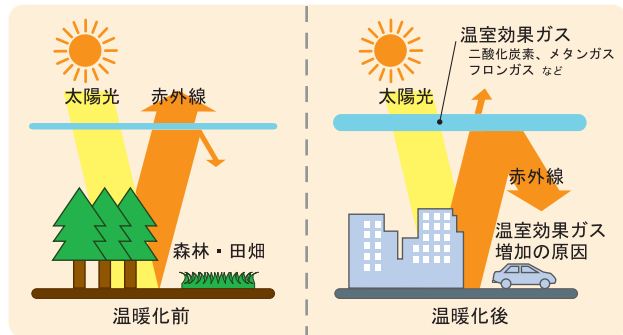


地球温暖化とエネルギー資源の枯渇

◆ 地球温暖化と私たちの生活

- 30年前と現在の生活を比べると、身の回りに様々な電化製品があることに気づきます。生活の便利さが増すにつれ、エネルギーの使用量も増加し、二酸化炭素(CO₂)の排出量も増え続けています。
- CO₂等の温室効果ガスが大気中に増えると、地球温暖化につながり、地球環境に深刻な影響を及ぼします。

地球温暖化の仕組み



資料:気候変動に関する政府間パネル (IPCC)「第3次評価報告書」

◆ 石油が無くなる!?

- 私たちの生活を支える電気や石油など、地球の資源には限りがあります。
- 特に、日本は石油のほぼ全量を輸入するなど、多くのエネルギー資源を外国から輸入しているため、エネルギー源の多様化が重要な課題です。

エネルギー資源の利用可能な年数



資料:BP統計2004

地球温暖化防止へ向けた動き

◆ 京都議定書の発効

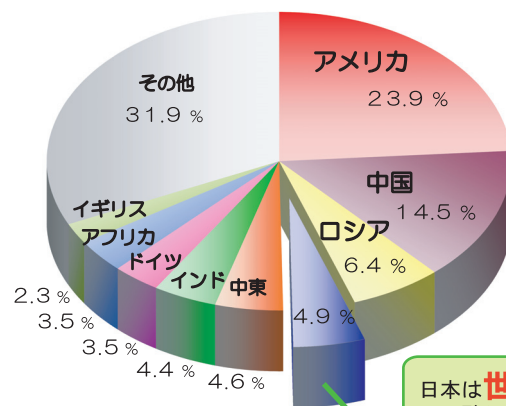
- 京都議定書とは、1997年に京都で開催された「地球温暖化防止京都会議 (COP3)」で世界中の国が集まって決めた国際的なルールです。
- 温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすことを目的としています。
- 日本は京都議定書において、2012年までに温室効果ガスを1990年より

『6%』 減らすことを約束しています。

チーム・マイナス6%

世界の二酸化炭素排出量 (2002年)

総排出量 約241億トン



日本は**世界第4位**の二酸化炭素排出国!



京都議定書の目標を達成するために、国民一人ひとりの実践を目指したアクションプラン、それがチーム・マイナス6%です。すでに多くの人や企業が参加し、CO₂削減のための様々な活動を展開しています。 チーム・マイナス6%ホームページ <http://www.team-6.jp/index.html>

